



参院選へ 政治変える思い、語り合った ジェンダー平等の願い実現へ

日本共産党の大平よしのぶ衆院中国比例予定候補は、3月29日、岡山、広島両市で党女性後援会のつどいに白川よう子参院比例予定候補と一緒に参加しました。白川氏は、4月3日の山口市の春のつどいにも参加しました。

白川氏は、父親のDVに苦しんだ生い立ちから「あらゆる暴力をなくし、個人の尊厳が守られるジェンダー平等社会をつくることは重要な課題」と発言。生理用品を備え付ける公共施設や学校が増えたのも「党と市民のみなさんの運動の成果。行動を確信に社会を動かそう」と強調しました。

岡山市では「今やるべき物価高騰対策は消費税率引き下げ、インボイス廃止」(業者)、「人手不足

が深刻で平時でも医療崩壊寸前」(医療)など分野別後援会から現状を出し合い交流。広島市では親子で参加した中学生が「軍事費を増やすのは誰?」と質問し、結婚を控えた女性から「選択的夫婦別姓が間に合わず残念」との声がありました。白川氏は総選挙で当選した衆院議員の6割が選択的別姓に賛成だとして「民法改正案を出せば通るのに、進めたくない勢力がいる。諦めず声を上げよう」と励ましました。

岡山・白川よう子 talking (3/29)



山口・春のつどい (4/3)



大学授業料値上げ STOP! 新婦人が政府交渉・広島



要望書を手渡す新婦人の役員と大平氏

新日本婦人の会広島県本部は3月21日、大学の授業料の値上げストップなどを求め、政府交渉を実施。大平氏も同席しました。

大学生2人を育てるある参加者は授業料などで一人当たり年間140

万円かかるとし、「祖父母などあらゆるつてにお願いしてお金を工面している」とうったえ。高校生と中学生の子の母親は、自身が就職氷河期の世代であり「収入を増やす機会をたびたび奪われてきた。幅広い支援を」と求めました。

担当者は「各大学の設置者が適切に設定している」「負担の重さは重々承知している」と回答。大平氏は「暮らしの実態からみれば適切など到底言えない。ただちに値下げすべきだ」とうったえ、教育予算の抜本的拡充を重ねて求めました。

中間地方選挙全員勝利へ

この3～4月、中国地方各地で中間地方選挙がたたかわれています。中国5県で22自治体29人の候補者が議席獲得に挑戦。全員当選へ大平氏もすべての町にかけつけ、応援に全力をあげています。



ごとう由美、吉井やすみ両出雲市議と



中国ブロック
YouTube チャンネルに
登録・視聴してください

大平よしのぶ元衆議院議員の「ここがおススメしんぶん赤旗」コーナーや活動が動画で配信されています

しんぶん赤旗をお読みください
赤旗無料キャンペーン

